

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	秋田県	市町村類型	II-1	指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)										
				財政健全化等	×	歳入総額	40,466,506			38,895,510	実質収支比率			9.3	6.0								
市町村名	大館市	地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳入総額	38,024,687	37,153,259	経常収支比率	88.2	88.4	(94.2)	(94.9)										
				首都	×	歳入歳出差引	2,441,819	1,742,251	(※1)														
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	390,665	395,147	標準財政規模	22,065,225	22,409,997												
				中部	×	実質収支	2,051,154	1,347,104	財政力指数	0.41	0.41												
人口	22年国調(人)	78,946	産業構造(※5)	過疎	○	単年度収支	704,050	-332,816	公債費負担比率	13.9	15.0												
	17年国調(人)	82,504		山振	○	積立金	317,212	475,951	健全化判断比率														
	増減率(%)	-4.3		低開発	×	繰上償還金	415,339	445,707	実質赤字比率	-	-												
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	76,769	第1次	22年国調	2,892	17年国調	3,913	低開発	×	積立金取崩し額	715,986	426,301	連結実質赤字比率	-	-								
	うち日本人(人)	76,504		2.892	3,913	指数表選定	○	720,615	162,541	実質単年度収支			11.6	13.4									
	26.01.01(人)	77,805	第2次	9.663	10.686	基準財政収入額	7,191,099	7,098,529	資金不足比率(※4)														
	うち日本人(人)	77,527		27.3	27.6	基準財政需要額	17,313,032	17,327,805															
	増減率(%)	-1.3	第3次	22.801	24.098	標準税収入額等	9,228,176	9,167,990															
	うち日本人(%)	-1.3		64.5	62.2	経常経費充当一般財源等	19,854,251	19,958,800															
面積(km ²)	913.22				歳入一般財源等	28,111,088	27,639,454																
人口密度(人/km ²)	86																						
世帯数(世帯)	28,565																						
職員の状況																							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	31,759,591	32,078,735												
	市区町村長	1	8,520		一般職員	655	2,065,215	3,153	うち公的資金	26,393,406	26,509,674												
	副市区町村長	2	6,760		うち消防職員	117	307,593	2,629	債務負担行為額(支出予定額)	8,093,748	6,299,669												
	教育長	1	5,720		うち技能労務職員	43	135,450	3,150	収益事業収入	-	-												
	議会議長	1	4,120		教育公務員	2	*	*	土地開発基金現在高	929,574	918,396												
	議会副議長	1	3,750		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,496,697	1,895,471												
	議会議員	26	3,570		合計	657	2,073,465	3,156	財政調整基金	814,369	1,114,182												
					ラスバイレス指数				減債基金	5,469,656	4,885,067												
									その他特定目的基金														
一般会計等の一覧																							
項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧		項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧		項番	団体名	(※3)	
(1)	一般会計	(9)	大館市国民健康保険特別会計	(14)	大館市水道事業会計	(18)	大館市公設総合地方卸売市場特別会計	(21)	秋田県市町村総合事務組合(一般会計)	(26)	東北環境保全センター												
(2)	大館市小規模水道等事業特別会計	(10)	大館市介護保険特別会計	(15)	大館市工業用水道事業会計	(19)	大館市農業集落排水事業特別会計	(22)	秋田県市町村総合事務組合(交通災害共済事業等特別会計)	(27)	大館市土地開発公社												
(3)	大館市休日夜間急患センター特別会計	(11)	大館市介護サービス事業特別会計	(16)	大館市病院事業会計	(20)	大館市戸別浄化槽整備事業特別会計	(23)	秋田県市町村会館管理組合(一般会計)	(28)	大館市文教振興事業団												
(4)	大館市田代診療所事業特別会計	(12)	大館市公営駐車場事業特別会計	(17)	大館市下水道事業会計	(24)	秋田県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(29)	田代ふるさと振興公社														
(5)	大館市温泉開発特別会計	(13)	大館市後期高齢者医療特別会計			(25)	秋田県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																
(6)	大館市奨学金特別会計																						
(7)	大館市都市計画事業特別会計																						
(8)	大館市土地取得特別会計																						

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	8,434,688	20.8	8,269,339	39.2	普通税	8,264,742	98.0	190,513
地方譲与税	299,340	0.7	299,340	1.4	法定普通税	8,264,742	98.0	190,513
利子割交付金	12,745	0.0	12,745	0.1	市町村民税	3,688,065	43.7	190,513
配当割交付金	33,830	0.1	33,830	0.2	個人均等割	121,874	1.4	-
株式等譲渡所得割交付金	14,709	0.0	14,709	0.1	所得割	2,388,075	28.3	-
地方消費税交付金	907,014	2.2	907,014	4.3	法人均等割	243,448	2.9	39,491
ゴルフ場利用税交付金	5,398	0.0	5,398	0.0	法人税割	934,668	11.1	151,022
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,836,031	45.5	-
自動車取得税交付金	37,560	0.1	37,560	0.2	うち純固定資産税	3,742,683	44.4	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	172,662	2.0	-
地方特例交付金	23,389	0.1	23,389	0.1	市町村たばこ税	567,984	6.7	-
地方交付税	13,022,143	32.2	11,400,636	54.1	釧路税	-	-	-
普通交付税	11,400,636	28.2	11,400,636	54.1	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	1,610,017	4.0	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	11,490	0.0	-	-	目的税	169,946	2.0	-
(一般財源計)	22,790,816	56.3	21,003,960	99.6	法定目的税	169,946	2.0	-
交通安全対策特別交付金	10,886	0.0	10,886	0.1	入湯税	4,597	0.1	-
分担金・負担金	98,676	0.2	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	517,908	1.3	28,830	0.1	都市計画税	165,349	2.0	-
手数料	173,778	0.4	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	4,842,058	12.0	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	4,052,465	10.0	-	-	合計	8,434,688	100.0	190,513
財産収入	200,445	0.5	35,709	0.2				
寄附金	166,141	0.4	-	-				
繰入金	1,805,012	4.5	-	-				
繰越金	1,742,251	4.3	-	-				
諸収入	772,370	1.9	2,393	0.0				
地方債	3,293,700	8.1	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	1,436,400	3.5	-	-				
歳入合計	40,466,506	100.0	21,081,778	100.0				

区分		平成26年度	平成25年度
徴収率(%)	現・計	99.2	93.9
	市町村民税	99.5	95.7
	純固定資産税	98.8	91.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	6,029,520	実質収支	477,634
病院	1,623,892	再差引収支	352,447
下水道	1,026,879	加入世帯数(世帯)	11,732
上水道	176,429	被保険者数(人)	18,742
介護サービス	76,587	被保険者	保険税(料)収入額
国民健康保険	596,414	1人当り	国庫支出金
その他	2,529,319		保険給付費

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	292,731	0.8	-	292,730	
総務費	4,774,869	12.6	231,910	4,073,718	
民生費	11,563,950	30.4	267,905	6,123,057	
衛生費	4,274,828	11.2	440,923	3,877,485	
労働費	173,290	0.5	5,417	78,092	
農林水産業費	1,061,447	2.8	333,177	785,923	
商工費	1,102,495	2.9	83,768	440,662	
土木費	3,826,465	10.1	1,625,437	2,451,434	
消防費	1,515,707	4.0	511,520	1,012,849	
教育費	3,399,625	8.9	975,318	2,478,614	
災害復旧費	2,092,945	5.5	-	151,637	
公債費	3,946,335	10.4	-	3,903,068	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	38,024,687	100.0	4,475,375	25,669,269	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	15,823,755	41.6	11,047,901	10,612,863	47.1
人件費	5,680,830	14.9	5,233,726	5,214,595	23.2
うち職員給	3,764,436	9.9	3,433,002	-	-
扶助費	6,196,644	16.3	1,911,161	1,910,593	8.5
公債費	3,946,281	10.4	3,903,014	3,487,675	15.5
元利償還金	3,946,281	10.4	3,903,014	3,487,675	15.5
内訳					
うち元金	3,612,844	9.5	3,569,587	3,154,248	14.0
うち利子	333,437	0.9	333,427	333,427	1.5
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	15,632,612	41.1	12,763,987	9,241,388	41.0
物件費	4,656,319	12.2	3,920,919	3,761,620	16.7
維持補修費	1,329,232	3.5	1,020,017	717,972	3.2
補助費等	3,368,552	8.9	2,941,870	2,089,556	9.3
うち一部事務組合負担金	50,940	0.1	50,940	35,855	0.2
繰入金	3,422,581	9.0	2,988,588	2,672,240	11.9
積立金	1,640,322	4.3	1,333,143	-	-
投資・出資金・貸付金	1,215,606	3.2	559,450	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	6,568,320	17.3	1,857,381	-	-
うち人件費	210,743	0.6	210,588	-	-
内訳					
普通建設事業費	4,475,375	11.8	1,705,744	-	-
うち補助	1,780,289	4.7	31,534	-	-
うち単独	2,633,945	6.9	1,668,880	-	-
災害復旧事業費	2,092,945	5.5	151,637	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	38,024,687	100.0	25,669,269	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成26年度 秋田県大館市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

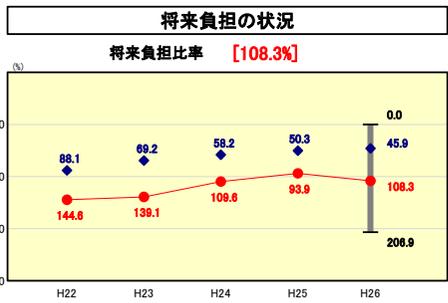
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	39,868	37,438	2,430	2,039	8	29,454	
2 大館市小規模水道等事業特別会計	4	4	0	0	2	-	
3 大館市休日夜間急患センター特別会計	46	42	3	3	11	31	
4 大館市田代診療所事業特別会計	58	54	4	4	18	-	
5 大館市温泉開発特別会計	18	18	0	0	2	-	
6 大館市奨学資金特別会計	45	44	1	1	-	20	
7 大館市都市計画事業特別会計	916	913	3	3	422	2,254	
8 大館市土地取得特別会計	0	0	-	-	-	-	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
2							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	76,769人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	76,504人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	913.22km ²	実質公債費比率	11.6%
歳入総額	40,466,506千円	将来負担比率	108.3%
歳出総額	38,024,687千円	市町村類型	H22 II-1 H23 II-1 H24 II-1
実質収支	2,051,154千円	(年度毎)	H25 II-1 H26 II-1
標準財政規模	22,065,225千円		
地方債現在高	31,759,591千円		



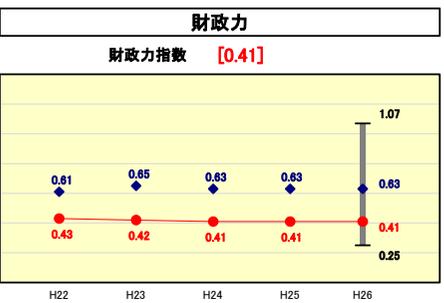
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 170/198 全国平均 45.8 秋田県平均 84.6

将来負担比率の分析概

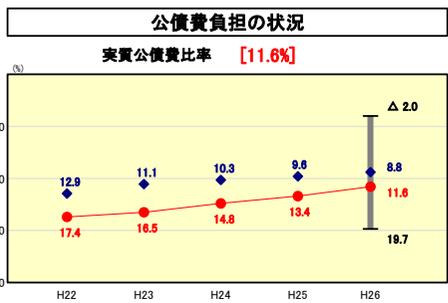
本市の将来負担比率が類似団体や秋田県の平均より高いのは、平成5年度以降に進めた五大プロジェクトをはじめとする社会資本整備と、平成19年度に実施した総合病院改築事業による地方債借入が主な原因であるが、近年の新規事業抑制による借入額の減少や、繰上償還の実施による借入残高の減少により、数値が改善しつつある。
 平成26年度は、公営企業会計負担職員等の退職手当引当金を普通会計に含めて算定したことから、前年度より比率が上昇した。
 今後も新規事業の実施等について総点検を図り、財政の健全化を図る。



類似団体内順位 104/198 全国平均 0.49 秋田県平均 0.29

財政力指数の分析概

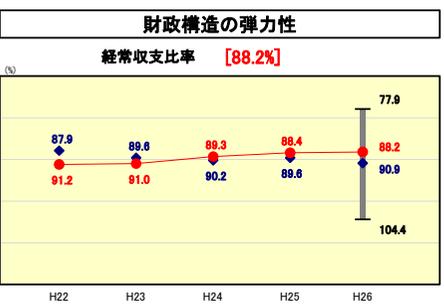
財政力指数が低下傾向にある主な原因は、長引く景気低迷による個人所得の減少や、土地価格の下落等による市税収入の減収である。
 歳入削減のため職員定員適正化計画を実施し、平成18年度から22年度の5年間で職員118人を削減し、23年度以降も20人の削減を実施した。
 今後も市税を中心とした歳入確保に努めるとともに、歳出の徹底的な見直しを行い財政基盤の強化を図る。



類似団体内順位 149/198 全国平均 8.0 秋田県平均 11.3

実質公債費比率の分析概

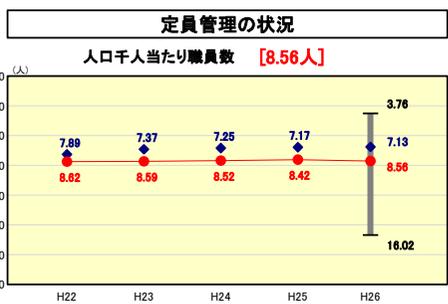
本市の実質公債費比率が類似団体や秋田県の平均より高いのは、平成5年度以降に進めた五大プロジェクトをはじめとする社会資本整備と、平成19年度に実施した総合病院改築事業による地方債借入が主な原因であるが、近年の新規事業抑制による借入額の減少や、繰上償還の実施による借入残高の減少により、数値が改善している。
 今後も新規事業の実施等について総点検を図り、財政の健全化を図る。



類似団体内順位 47/198 全国平均 91.3 秋田県平均 88.9

経常収支比率の分析概

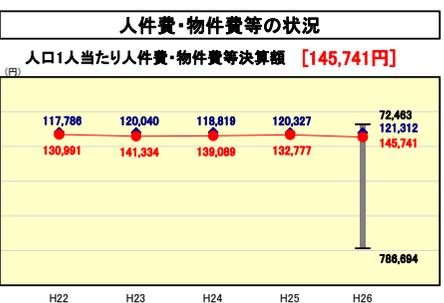
経常収支比率が類似団体や秋田県の平均より高く推移してきたのは、病院改築事業に伴う病院事業への繰出金が多額であることが主な原因である。
 病院事業の経営改善実施により、比率が若干改善し、26年度も類似団体平均を若干下回ったが、依然高い水準にあるため、今後も病院事業の経営改善を図るほか、人件費削減や公債費削減等の実施により比率の改善を図る。



類似団体内順位 155/198 全国平均 8.96 秋田県平均 9.03

人口千人当たり職員数の分析概

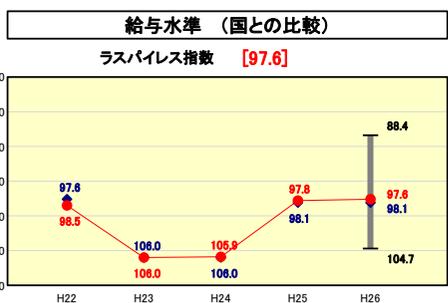
平成17年7月の合併以降、職員定員適正化計画に基づく職員削減に取り組み、18年度から22年度の5年間で削減目標を4人上回る118人削減を達成し、23年度以降も20人の削減を実施したため、本市の数値は改善傾向にある。
 平成26年度は職員再任用制度を本格実施したことから、職員数が前年度より2人増加し、前年度より数値が上昇した。
 今後も人員配置や事務事業の徹底的な見直しを行い、適正な定員管理を進めていく。



類似団体内順位 185/198 全国平均 119,984 秋田県平均 146,410

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析概

人口1人当たりの人件費・物件費等が類似団体の平均より高いのは、施設の指定管理者制度の推進による物件費(委託料)の増加が主な要因である。
 また、職員定員適正化計画による人件費削減が数値の改善につながらないのも、指定管理者制度の推進による物件費の増加が主な要因である。
 今後も人件費の削減と経常経費の見直しによる物件費の削減を図ることにより、数値の改善を図る。



類似団体内順位 77/198 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレズ指数の分析概

本市のラスパイレズ指数は、人事院勧告を順守してきたことにより、類似団体の平均とほぼ同じ水準で推移しており、26年度の数値は類似団体平均を0.5ポイント、全国市平均を1.1ポイント下回っている。
 今後も地域の民間企業の給与水準との均衡を基本とし、給与の適正化を図る。

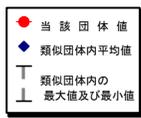
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

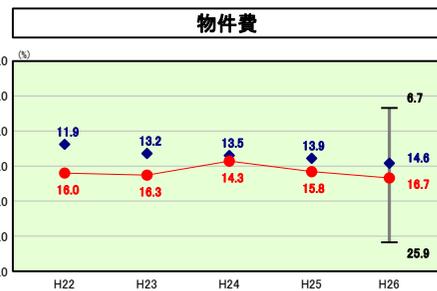
秋田県大館市

経常収支比率の分析

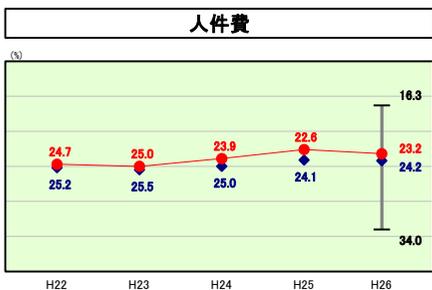
人口	76,769	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	76,504	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	913.22	km ²	実質公債費比率	11.6	%
歳入総額	40,466,506	千円	得た負担比率	108.3	%
歳出総額	38,024,687	千円	市町村類型	H22 II-1 H23 II-1 H24 II-1	
実質収支	2,051,154	千円	(年度毎)	H25 II-1 H26 II-1	
標準財政規模	22,065,225	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



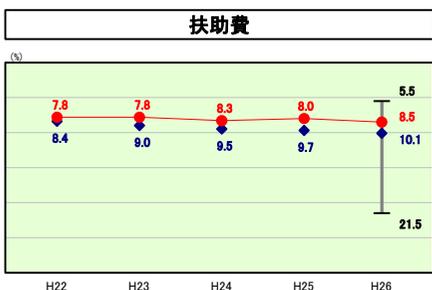
物件費の分析欄
本市の物件費の比率が類似団体の平均を上回っているのは、施設の指定管理者制度推進による委託料の増加が主な要因である。今後も経常経費の見直しによる物件費削減を実施することにより、数値の改善を図る。



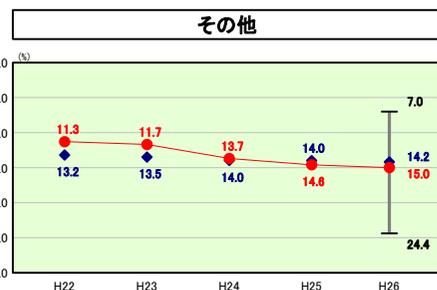
人件費の分析欄
本市の人件費は、合併後の平成18年度以降、類似団体の平均を上回っていたが、職員定員適正化計画を実施し、職員118人削減を達成したことにより、22年度以降は類似団体の平均を下回っている。平成26年度は職員再任用制度を本格実施したことから、前年度より職員数が2人増加するなど、前年度より比率が上昇した。今後も人員配置や事務事業の見直しを行い、更なる人件費の削減を図る。



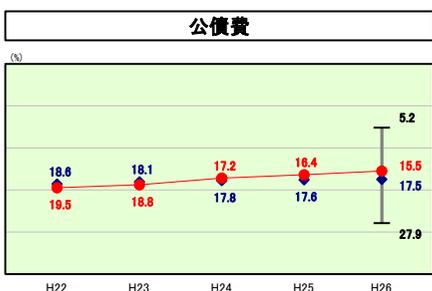
補助費等の分析欄
平成22年度以降、本市の補助費等の比率が類似団体の平均を上回っていたのは、病院事業や下水道事業をはじめとする公営企業に対する補助金・負担金の額が上昇したことが主な原因である。平成26年度は病院事業に対する補助金・負担金の額が大きく減少したことから、類似団体の平均を下回った。今後も病院事業の経営改善や下水道事業の事業量抑制等による数値の改善を図る。



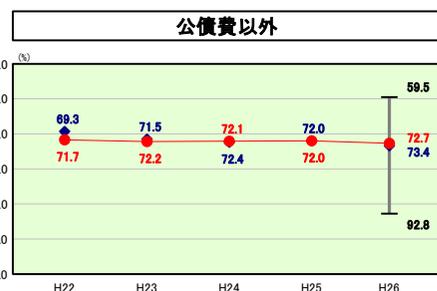
扶助費の分析欄
本市の扶助費は、類似団体の平均とほぼ同じ水準で推移しているが、近年の障害者自立支援給付費等の増加により、数値は上昇傾向にある。今後も資格審査等の適正化を図り、財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



その他の分析欄
その他については、国民健康保険や介護保険の保険料適正化等により、特別会計繰出金の抑制を図っているため、類似団体の平均を若干下回ったまま推移してきたが、高齢化の進行等により25年度以降は、類似団体の平均を上回った。今後も保険料の適正化等により、普通会計の負担を減らすよう努める。



公債費の分析欄
本市の公債費は、類似団体の平均より若干高い水準で推移してきたが、近年の新規事業抑制による借入額の減少や、繰上償還の実施による借入残高の減少により、26年度の比率も類似団体の平均を若干下回った。今後も新規事業の実施等について総点検を図り、数値の改善を図る。



公債費以外の分析欄
公債費以外については、類似団体の平均より若干高い水準で推移してきた。これは、公営企業に対する補助金・負担金により補助費等の割合が高いことが主な要因である。今後も新規事業の実施等について総点検を図り、数値の改善を図る。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

秋田県大館市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



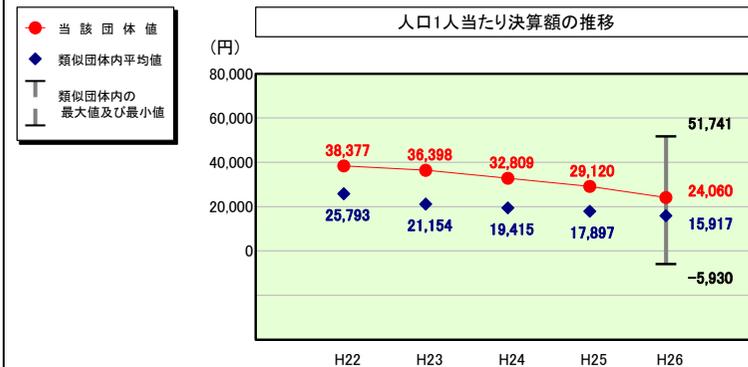
人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	5,680,830	73,999	65,114	13.6
賃金 (物件費)	338,718	4,412	4,538	▲ 2.8
一部事務組合負担金 (補助費等)	45,725	596	5,513	▲ 89.2
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	135,169	1,761	953	84.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	241,028	3,140	2,887	8.8
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	210,743	2,745	1,642	67.2
▲退職金	▲ 688,740	▲ 8,972	▲ 6,965	28.8
合計	5,963,473	77,681	73,685	5.4

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.56	7.13	1.43
ラスパイレズ指数	97.6	98.1	▲ 0.5

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

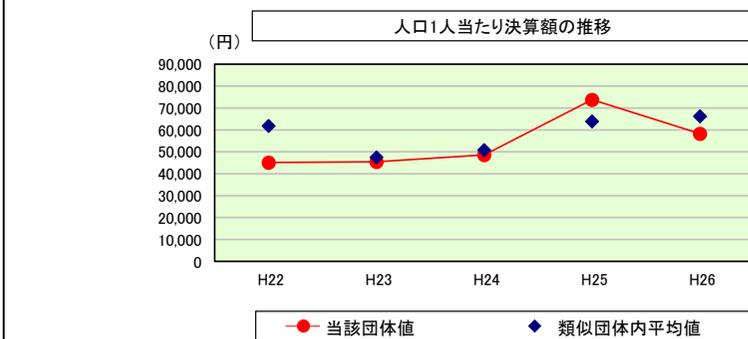


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,530,942	45,994	43,359	6.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,555,774	20,266	11,806	71.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	-	-	1,910	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	205,534	2,677	1,129	137.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 201,226	▲ 2,621	▲ 5,126	▲ 48.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,243,984	▲ 42,256	▲ 37,205	13.6
合計	1,847,040	24,060	15,917	51.2

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

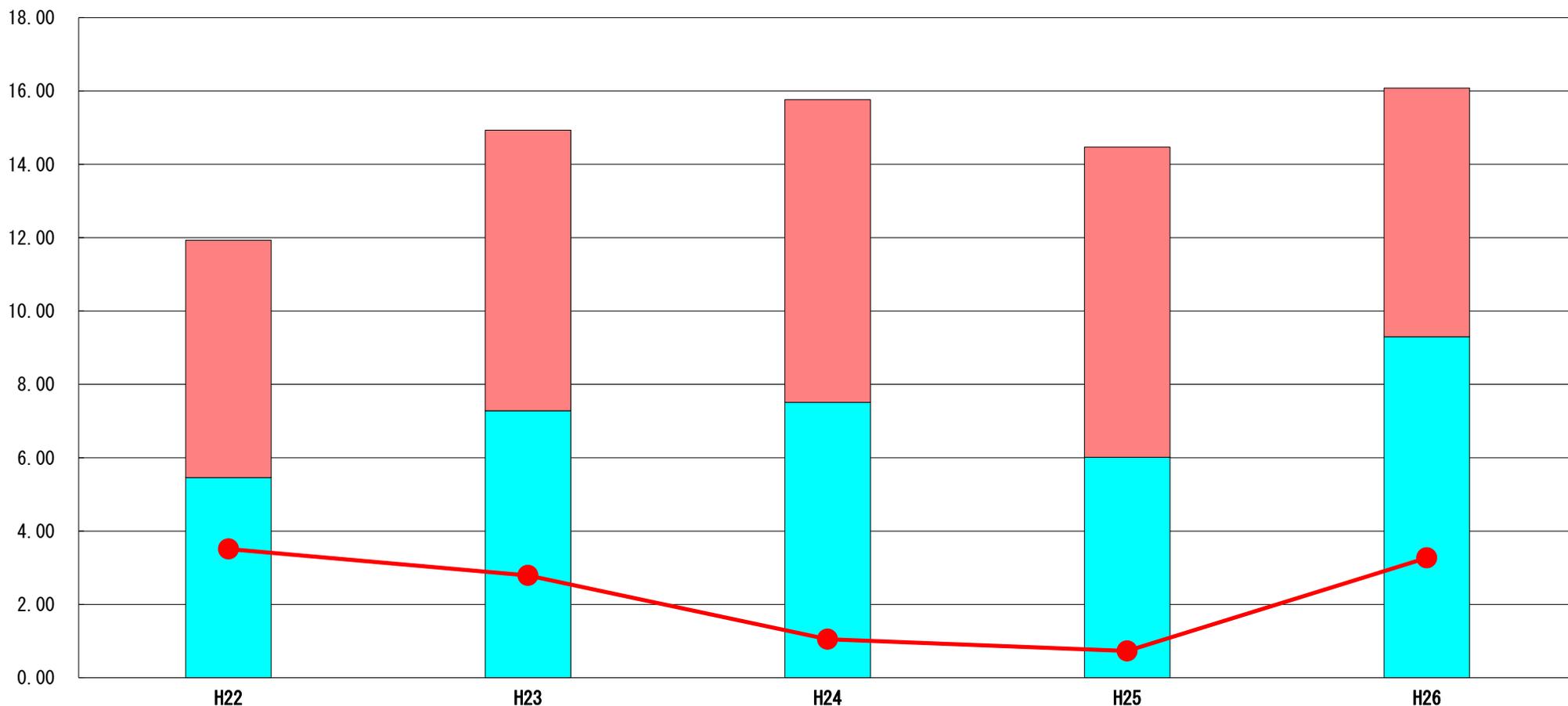
年度	項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
			当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	うち単独分	3,598,971	45,137	▲ 3.8	61,882	6.7	▲ 10.5
	うち単独分	2,665,780	33,433	9.3	32,175	0.0	9.3
H23	うち単独分	3,586,142	45,481	0.8	47,569	▲ 23.1	23.9
	うち単独分	2,346,452	29,759	▲ 11.0	26,255	▲ 18.4	7.4
H24	うち単独分	3,800,743	48,608	6.9	50,880	7.0	▲ 0.1
	うち単独分	2,024,658	25,894	▲ 13.0	26,879	2.4	▲ 15.4
H25	うち単独分	5,742,344	73,804	51.8	63,956	25.7	26.1
	うち単独分	3,414,572	43,886	69.5	29,239	8.8	60.7
H26	うち単独分	4,475,375	58,297	▲ 21.0	66,255	3.6	▲ 24.6
	うち単独分	2,633,945	34,310	▲ 21.8	31,822	8.8	▲ 30.6
過去5年間平均	うち単独分	4,240,715	54,265	6.9	58,108	4.0	2.9
	うち単独分	2,617,081	33,456	6.6	29,274	0.3	6.3

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

秋田県大館市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		6.47	7.65	8.25	8.46	6.78
 実質収支額		5.46	7.28	7.51	6.01	9.30
 実質単年度収支		3.51	2.79	1.05	0.73	3.27

分析欄

市税等の収納率向上対策の実施と徹底した事務事業の見直し等により、一定規模の実質収支額を確保している。

財政調整基金残高は、平成21年度以降は積み増しを行い増加していたが、平成26年度は災害復旧費、豪雪に伴う除雪経費等の増加により、財源を十分に確保できず減少した。

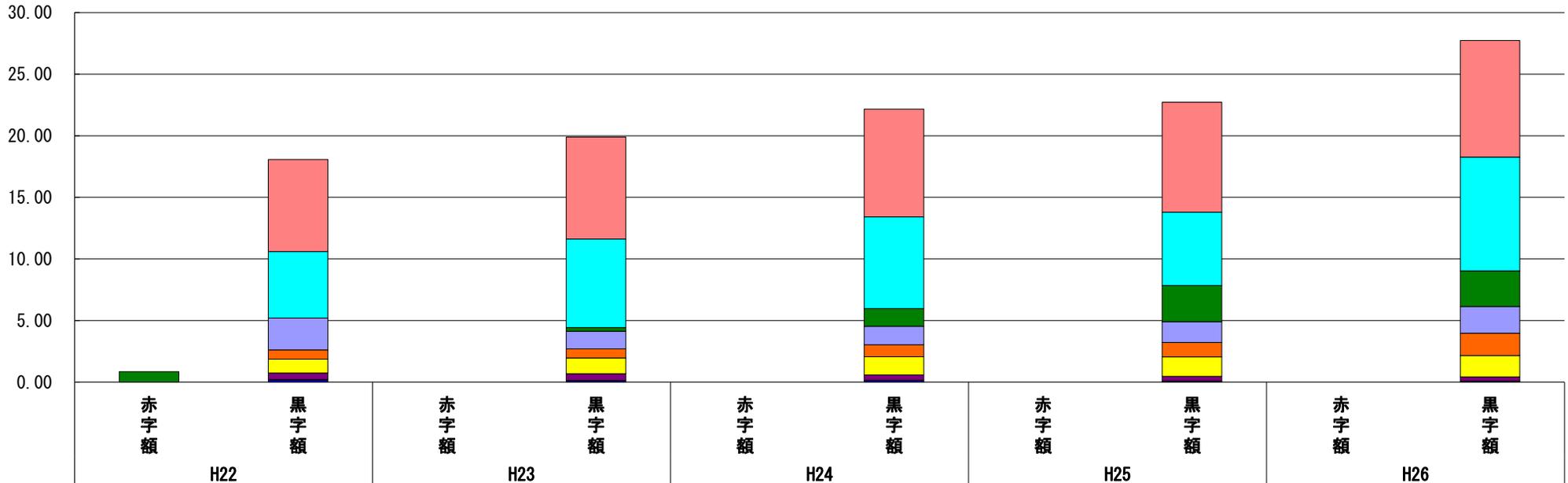
基金残高の標準財政規模に対する比率はまだまだ低い水準であり、また、合併算定替え終了による普通交付税の減少など、今後の歳入見通しが厳しくなることから、歳出予算の見直し等による財源確保を通じて、今後も計画的な積み立てを実施する。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

秋田県大館市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
大館市水道事業会計		7.47	8.29	8.76	8.92	9.47
一般会計		5.39	7.18	7.44	5.95	9.24
大館市病院事業会計		▲ 0.86	0.30	1.43	2.94	2.89
大館市国民健康保険特別会計		2.59	1.42	1.50	1.69	2.16
大館市介護保険特別会計		0.75	0.75	0.97	1.17	1.82
大館市下水道事業会計		1.12	1.28	1.48	1.57	1.74
大館市工業用水道事業会計		0.53	0.54	0.44	0.39	0.33
大館市農業集落排水事業特別会計		0.04	0.02	0.02	0.02	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.18	0.12	0.13	0.07	0.07

分析欄

水道事業会計は繰上償還の実施による償還利息の減、人件費の抑制等により黒字が増加した。
 一般会計の実質黒字の増加は、平成25年度に発生した豪雨災害に伴う災害復旧の施越工事による国庫支出金の収入によるものである。
 病院事業会計は、平成19年度に実施した総合病院改築事業により、20年度に赤字に転じたが、その後の経営改善計画実施により、23年度以降は黒字に転じている。
 国民健康保険特別会計は、保険給付費の適正化等により黒字が増加した。
 今後も経営改善計画や事務事業の見直し等を実施し、黒字の確保に努める。

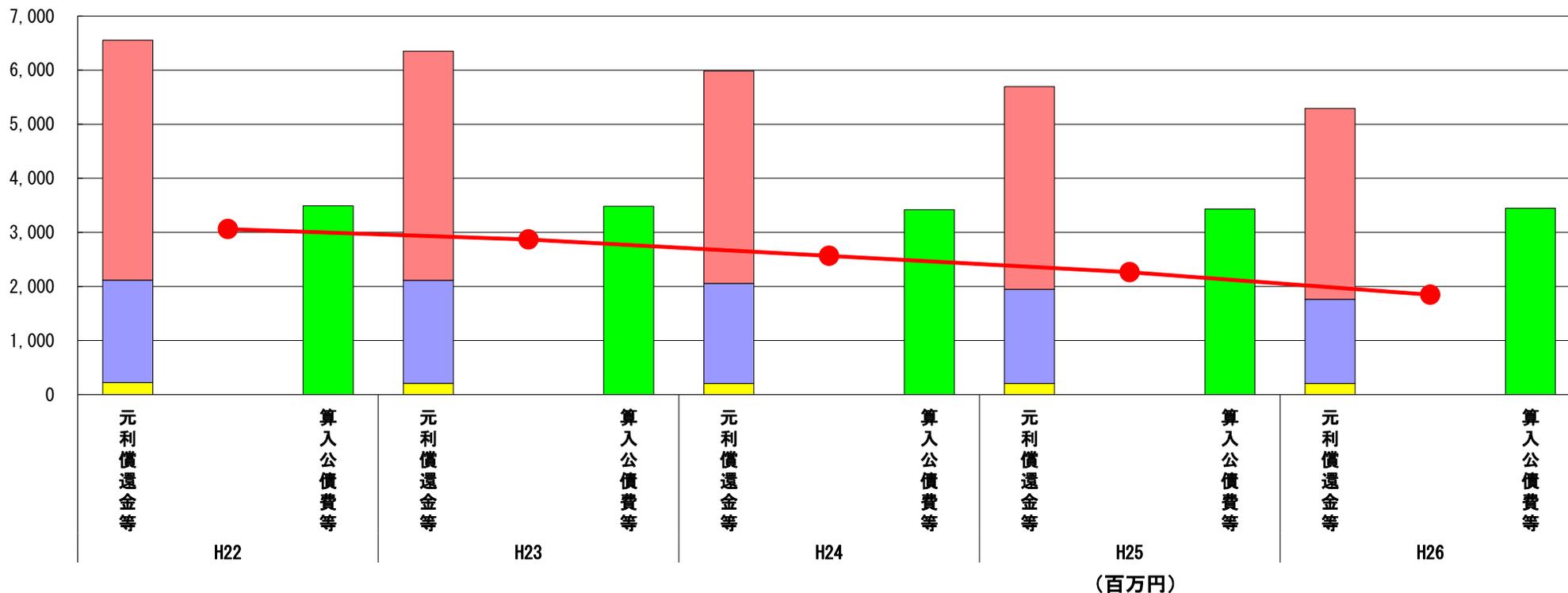
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

秋田県大館市

(百万円)



分子の構造		年度				
		H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金	4,436	4,236	3,931	3,749	3,531
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,892	1,905	1,847	1,739	1,556
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	224	210	208	207	206
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	3,492	3,482	3,420	3,431	3,446
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	3,060	2,869	2,566	2,264	1,847

分析欄

新規事業の抑制等により、元利償還金は減少傾向にある。また、地域振興基金の積み立て原資である合併特例事業債の繰上償還を行うとともに、総合病院改築事業に係る償還額も平成21年度がピークであることから、元利償還金及び公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、減少する傾向にある。
 今後も新規事業の実施等について総点検を図り、地方債の借入抑制を図る。

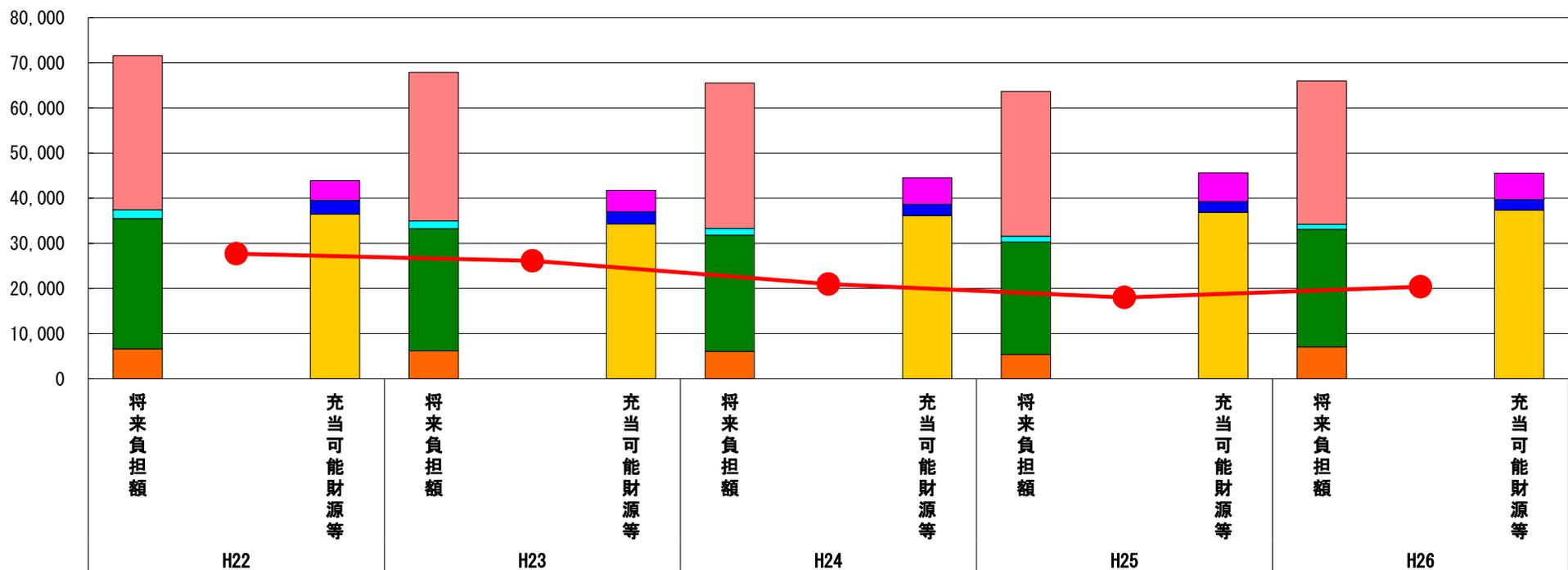
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

秋田県大館市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		34,138	32,913	32,234	32,079	31,760
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,949	1,715	1,508	1,301	1,096
	公営企業債等繰入見込額		28,854	27,072	25,724	24,885	26,056
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		6,650	6,195	6,081	5,418	7,069
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		4,387	4,713	5,855	6,395	5,886
	充当可能特定歳入		3,040	2,782	2,540	2,370	2,340
	基準財政需要額算入見込額		36,469	34,257	36,158	36,898	37,361
(A) - (B)	将来負担比率の分子		27,695	26,144	20,994	18,019	20,393

分析欄

新規事業の抑制等により、一般会計等に係る地方債の現在高は減少傾向にある。また、総合病院改築事業に係る償還額は平成21年度がピークであることから、公営企業債等繰入見込額も今後は減少する見込みである。
退職手当負担見込額は、平成26年度から公営企業会計負担職員等分も普通会計に含めて算定したことから、前年度より上昇した。
今後も新規事業の実施等について総点検を図り、財政の健全化を図る。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。